

平成 28 年度 第 3 回電気学会電磁界理論技術委員会
第 97 回 電子情報通信学会電磁界理論研究専門委員会
合同委員会 議事録(案)

日時：平成 29 年 3 月 23 日(木) 9:30～11:00

場所：名城大学 天白キャンパス 共通講義棟北 N506

出席者：田中委員長(岐阜大)^{†‡}、佐藤(源)委員長(東北大)[‡]、廣瀬副委員長(東京大)[‡]、
小林委員(中央大)[†]、佐藤(亮)委員(新潟大)^{†‡}、鈴木委員(首都大)[†]、松島委員(熊本大)[†]、
森本委員(近畿大)[†]、山崎委員(日本大)[†]、上田委員(京都工繊大)[‡]、大久保委員(首都大)[‡]、
大貫委員(日本大)[‡]、園田委員(仙台高専)[‡]、中嶋委員(福岡工大)[‡]、平野委員(東京工大)[‡]、
西岡幹事(三菱電機)[‡]、松岡幹事補佐(九州産業大)[‡]、後藤幹事(防衛大)^{†‡}、出口幹事(同志社大)[†]、
中幹事補佐(九州保健福祉大)[†]

†：電気学会，‡：電子情報通信学会

配布資料：

電気学会

- No.28-ETC3-1 平成 28 年度第 2 回電磁界理論技術委員会議事録(案)
- No.28-ETC3-2 第 114 回電気学会基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会議事録(案)
- No.28-ETC3-3 A 部門編集委員会 論文特集号の編集計画
- No.28-ETC3-4 平成 29 年度第 46 回電磁界理論シンポジウムについて
- No.28-ETC3-5-1 URSI GASS 2017 Time Schedule - View at a Glance(2016 年 3 月 16 日現在)
- No.28-ETC3-5-2 URSI GASS 2017 Scientific Program - Commission B
- No.28-ETC3-5-3-1 EMT News (No. 532)：2017 年 URSI 総会の論文投稿締切延長★2/13★
- No.28-ETC3-5-3-2 論文投稿状況(2017 年 2 月 15 日現在)
- No.28-ETC3-6-1 PIERS 2018 Toyama 日程表(2015 年 11 月 9 日現在)
- No.28-ETC3-6-2 PIERS 2018 Toyama 趣意書(案)
- No.28-ETC3-6-3 PIERS 2018 Toyama プレイベント開催計画(案)
- No.28-ETC3-7-1 プロポーザル作成にあたり取得した招請レター一覧
- No.28-ETC3-7-2 2020 年 URSI 総会プロポーザル

電子情報通信学会

- No.97-1 第 96 回電磁界理論研究専門委員会議事録
- No.97-2 電子情報通信学会英文論文誌 C 編集委員会関係
- No.97-3 2016-17 年度(平成 28-29 年度)電磁界理論研究会活動(報告と計画)
- No.97-4 平成 28 年度電磁界理論研究会学生優秀発表賞受賞者について
- No.97-5-1 電磁界理論研究専門委員会出納帳(決算見込み)
- No.97-5-2 研究会・研究専門委員会の会場費ならびに研究専門委員会食事代の支出方法及び
支払い方法の変更について
- No.97-5-3 平成 29 年度電磁界理論研究専門委員会会場費申請書
- No.97-6 2017 年 9 月 ソサイエティ大会シンポジウム提案について

No.97-7

技術研究報告完全電子化研究会トライアル実施について

No.97-8

平成 29 年度電磁界理論研究専門委員会構成(案)

電気学会 電磁界理論技術委員会 議事

1. 平成 28 年度第 2 回電磁界理論技術委員会議事録(案)について

田中委員長より資料 No. 28-ETC3-1 に基づき前回議事録を確認し、了承された。もし後日気づいた点などあれば、改めてご連絡頂きたい旨説明がなされた。

2. 電気学会基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会報告について

田中委員長より資料 No.28-ETC3-2 に基づき、電気学会基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会に関する以下の報告がなされた。

- ・基礎・材料・共通部門役員会において、研究会参加費の有料化を推し進める方向で議論されている。
- ・同役員会において、研究会資料の電子化について、今後も検討を続ける方向で議論されている。
- ・2017 年 4 月より研究会資料の技術委員会幹事団への寄贈範囲が縮小され、主催の技術委員会へ 1 部のみの寄贈となる。
- ・プラズマ技術委員会とパルス電磁エネルギー技術委員会が 2018 年 1 月からの統合に向けて手続き中である。

3. A 部門編集委員会 論文特集号の編集計画について

後藤幹事より資料 No.28-ETC3-3 に基づき、電磁界理論技術委員会において平成 30 年度に A 部門論文特集号を組む必要がある旨説明がなされた。本特集号に関する計画案を平成 29 年度第 1 回合同委員会で提案する旨説明がなされた。

4. 平成 29 年度第 46 回電磁界理論シンポジウムについて

出口幹事より資料 No.28-ETC3-4 に基づき、平成 29 年度第 46 回電磁界理論シンポジウム日程および開催地について説明がなされた。審議の結果、日程を 2017 年 11 月 9 日(木)–11 日(土)とし、山形県天童温泉天童ホテルを開催候補地とすることが提案され、承認された。

5. 第 32 回 URSI 総会(URSI GASS 2017)の開催について

5.1 タイムテーブルについて

5.2 Commission B セッションについて

5.3 論文投稿状況について

小林委員より資料 No.28-ETC3-5-1 から No.28-ETC3-5-3-2 に基づき、2017 年 8 月 19 日から 26 日にカナダ・モントリオールで開催予定の第 32 回 URSI 総会(URSI-GASS 2017)に関する報告がなされた。

6. 2018 年電磁波工学研究の進歩に関する国際会議(PIERS 2018 Toyama)の開催について

6.1 PIERS 2018 Toyama 日程表について

6.2 PIERS 2018 Toyama 趣意書について

小林委員より資料 No.28-ETC3-6-1 から No.28-ETC3-6-3 に基づき、2018 年 8 月 1 日から 5 日に富山市で開催予定の PIERS 2018 Toyama の準備状況に関する報告がなされた。

7. URSI 総会(2020 年及び 2023 年)の日本招致について

小林委員より資料 No.28-ETC3-7-1 および No.28-ETC3-7-2 に基づき、札幌コンベンションセンターでの 2020 年 URSI 総会開催に向けたプロポーザルが提出されたことおよび、その概要について報告がなされた。

8. 電磁界理論技術委員会の次期運営体制について

田中委員長より本年度で任期満了となる田中委員長の後任として、後藤啓次 氏(防衛大)を推薦する旨提案され、承認された。その後、後藤次期委員長より次年度の電磁界理論技術委員会の幹事団について次の案が提案され、承認された。

- ・任期満了となる後藤啓次幹事の後任として川口秀樹 氏(室蘭工大)を推薦する。
- ・出口博之幹事(同志社大)、中 良弘幹事補佐(九州保健福祉大)は留任とする。

9. 電磁界理論技術委員の交代について

田中委員長より技術委員の任期が一期 3 年 2 期(6 年)までであることが説明され、本年度で任期満了となる小林委員(中央大)、佐藤(亮)委員(新潟大)、鈴木敬久(首都大)、山崎委員(日本大)の退任が報告された。後任の委員は現在選定中である旨説明がなされた。

以上

電子情報通信学会 電磁界理論研究専門委員会 議事

1. 第 96 回電磁界理論研究専門委員会議事録の確認

佐藤(源)委員長より資料 No.97-1 に基づき前回議事録の確認があり、承認された。もし後日気づいた点などあれば、改めてご連絡いただきたい旨説明がなされた。

2. 電子情報通信学会英文論文誌 C 編集委員会関係について

西岡幹事より資料 No.97-2 に基づき、電子情報通信学会英文論文誌 C 小特集号(2018 年 1 月発行)の編集スケジュールに関して以下のように説明がなされた。また、投稿のお願いがあった。

- ・論文投稿締切日：2017 年 3 月 31 日(金)
- ・論文編集委員会：2017 年 6 月 3 日(土)日本大学理工学部駿河台キャンパス

また、エレス編集出版会議においてエレス和英文論文誌における冊子体別刷および、英文誌における英文クオリティチェックの廃止が決定された旨報告がなされた。

3. 電磁界理論研究会の活動実績と今後の予定について

西岡幹事より資料 No.97-3 に基づき、2016 年度に行われた電磁界理論研究会の終了報告、および 2017 年度研究会の予定について説明がなされた。

4. 平成 28 年度電磁界理論研究会学生優秀発表賞受賞者について

松岡幹事補佐より資料 No.97-4 に基づき、平成 28 年度電磁界理論研究会学生優秀発表賞に Iakov Chernyak 氏(東北大学)、清水将行氏(中央大学)、宮崎孝祐氏(新潟大学)、立澤圭輔氏(日本大学)が決定し、2017 年電子情報通信学会総合大会会期中に授賞式を行った旨の報告がなされた。

5.1 平成 28 年度研究専門委員会活動費等最終決算見込

松岡幹事補佐より資料 No.97-5-1 に基づき、平成 28 年度研究専門委員会活動費等の最終決算見込みについて説明がなされた。また、特定資産の収入源が不明なため、松岡幹事補佐に調査を依頼することとなった。

5.2 研究会・研専委員会の会場費の申請・精算方法の変更について

松岡幹事補佐より資料 No.97-5-2 に基づき、平成 29 年度からの研究会・研究専門委員会の会場費ならびに研究専門委員会食事代の支出方法について以下のように説明がなされた。

会場費：

- ・研究会 1 日 3 万円、研究専門委員会 1 日 2 万円を限度とする会場費のみが支出される。
- ・会場費は次年度の予定会場費額を前年度中に学会事務局に申請し、年度初めに一括入金される。未使用額は研専活動費と同様に年度末に精算される。
- ・会場費を研専活動費から支出することはできない。
- ・会場費が上限金額を超えた場合は、特定資産繰入金が可能。

食事代

- ・研専活動費からの食事代の支出は廃止。

5.3 平成 29 年度会場費・委員会費の申請報告について

松岡幹事補佐より資料 No.97-5-3 に基づき、平成 29 年度の研究会および研究専門委員会の会場費申請について説明がなされた。

6. 2017 年ソサイエティ大会シンポジウムセッション提案

松岡幹事補佐より資料 No.97-6 に基づき、2017 年電子情報通信学会ソサイエティ大会シンポジウムに電磁界理論研専より「電磁界理論におけるアルゴリズム」というテーマを提案したとの報告がなされ、投稿のお願いがあった。

7. エレソ研究会改革関係

佐藤(源)委員長より資料 No.97-7 に基づき、エレクトロニクスソサイエティの技術研究報告完全電子化研究会トライアル実施について以下の通り説明がなされた。

- ・トライアル実施期間は 2017 年 4 月から 2018 年 3 月。
- ・トライアル参加の場合、研究会参加者より参加費を徴収。
- ・研究会が共催・併催の場合、トライアル参加、不参加の研究会が混在することが可能。その場合、全研究会の報告書が含まれる技報電子媒体および紙冊子が発行される。その際、参加者は参加する研究会の制度に従う。

その後、次年度の電磁界理論研究会の開催形態について審議され、電磁界理論研究会単独開催の場合はトライアル不参加とし、他の研究会と共催・併催の場合はトライアル参加とすることが承認された。これに基づき、資料 No. 97-7 の 2017 年 7 月に実施予定の光電波ワークショップへの開催形態調査に対し、トライアル参加で回答する旨が確認された。この際、電気学会側に参加を希望する参加者に対する電気学会発行研究会資料冊子の販売の可否を、電気学会側幹事団で確認することとなった。

8. 電磁界理論研究専門委員会 次期執行部構成

佐藤(源)委員長より資料 No.97-8 に基づき、本年度で任期満了となる佐藤(源)委員長の後任として、廣瀬 明副委員長(東京大)を推薦する旨提案され、承認された。その後、廣瀬次期委員長より次年度の電磁界理論研究専門委員会の幹事団および委員について次の案が提案され、承認された。

- ・副委員長として、平山浩一 氏(北見工大)を推薦する。
- ・任期満了となる西岡泰弘幹事(三菱電機)の後任として、黒木啓之 氏(都立産技高専)を推薦する。
- ・阪本卓也幹事(兵庫県立大)、松岡剛志幹事補佐(九州産業大)は留任とする。
- ・藤田和広 氏(富士通)を専門委員として推薦する。
- ・任期満了となる西岡泰弘幹事(三菱電機)には、引き続き専門委員として加わって頂く。

以上